



シリーズ⑥

燃やせるごみは推奨袋で出しまくらより

現在、燃やせるごみは、市の施設で日曜日も焼却していますが、焼却しきれないごみは、市内の民間業者に委託し、焼却しています。

燃やせるごみの推奨袋は、焼却炉にやさしく、自然にもやさしい素材で作られています。

しかし最近、燃やせるごみの日にダンボールを推奨袋の代わりに使用して捨てている方が増えています。

また、じん芥処理センターに運ばれてくる燃やせるごみの中には、資源となるダンボールや古新聞、古雑誌

誌が多く含まれています。

ダンボールや古新聞、古雑誌などは、町会(自治会)の資源回収に出すことで、資源として再生、再利用することができます。また、燃やせるごみも減らすことができ、民間業者への委託などの処理費用も少なくなることができます。

燃やせるごみは推奨袋で、ダンボールや古新聞、古雑誌などは資源回収に出すなど、環境にやさしい取り組みにご協力をお願いします。
問合せ先 市環境対策課

市はこれまでに、ごみのよりよい始末を進める井戸端会議などで、今後のごみ処理について、市民の皆さんから多くの意見や提案をいただきました。

また、きれいなまちづくり検討会議では、岩見沢市のごみ処理方法や回収方法、新たな最終処分地など、今後想定される問題を明らかにし、ごみ処理方法のあり方について検討を進めており、3月末までに、市長に答申を行う予定です。

市民の皆さんの意見や提案、きれいなまちづくり検討会議の答申を踏まえて、将来を見据えた岩見沢にふさわしい新しいごみ処理方法を決定します。

なお、シリーズ「みんなで考えようごみの処理」は、今月号で最後となりますが、きれいなまちづくり検討会議の答申を受けた後、検討事項や新たに決定した内容などを、今後も、随時お知らせしていきます。